

Denmark Inspection デンマーク保育・福祉視察

世界一幸福な国で自然保育園・高齢者施設をめぐる 8 日間



▶ 高齢者センターの外観

「老人ホーム」という言葉が現在は存在しないデンマークの高齢者福祉。十数年前に老人ホームでの「個室」は廃止され、トイレ・キッチン・シャワーがあった「住居」への移行が決定されました。

スウェンボー市庁舎にて講義

世界一幸福な国、と言われる所以である、デンマークの子育て施策・高齢者福祉施策・障害者福祉施策や、父親母親による育児の現状を学びます。



保育園・高齢者福祉施設

動物との共存。雪の中での自然保育。室内保育。高齢者福祉は、日本の病院の雰囲気漂う老人ホームとは全く違う施設を見学します。

子どもの乗り物

市内では、こうした、前に子どもが乗るカゴがついた自転車「クリスチャニアバイク」をこごお父さんの姿が、ところどころで見られます。父親の育児参加も手に取るように感じてください。



トピック① 噂の“バス保育園”を訪問

本ツアーでは、バス保育に同行します



リュッタゴン自然保育園は、別名「バス保育園」と呼ばれています。5～6歳クラスは、(月)(火)(水)(木)は朝9時に海へバスで出かけ昼食(持参弁当)を食べてまた遊んでから帰ってくるんですって。雨でも雪でも必ず出かけるのだそう。ご期待下さい！

トピック② マイナス9℃の屋外で昼寝

なんと！0～2歳児は全員外で昼寝。マイナス9℃の中、しかも、雪が降っているのに外で昼寝するんですよ。



スケジュール

2/1 10:00 昼:機内 タ:○

11:40 成田空港よりコペンハーゲンへ

16:05 コペンハーゲン到着後、電車(バス)にてスウェンボーへ
ホテルチェックイン
スウェンボー(泊)

2/2 10:00 朝:○ 昼:○ タ:○

午前 ホテルにて朝食
スウェンボー市内視察
市庁舎にて講義受講
午後 専用車にて福祉施設へ/福祉施設見学
ホテルにて夕食(ウェルカムパーティー)
スウェンボー(泊)

2/3 10:00 朝:○ 昼:○ タ:×

午前 ホテルにて朝食
専用車にて保育園へ/保育園見学
午後 市内にて昼食後、保育園見学
(スンドホイ自然幼稚園、リュッタゴン自然保育園) ※夕食は各自自由
スウェンボー(泊)

2/4 10:00 朝:○ 昼:× タ:○

午前 ホテルにて朝食
市内観光(自由行動)
スウェンボー市内主要地域を徒歩にて
午後 市内にて各自昼食/プロホルム城へ
途中、トルンベルク教会見学
プロホルム城(泊)

2/5 10:00 朝:○ 昼:○ タ:×

午前 ホテルにて朝食
専用車にてコペンハーゲンへ
市内にて昼食
午後 市内観光(アマリエンボー宮殿、人魚姫、ストロイエ等) 解散後自由行動/夕食は各自
コペンハーゲン(泊)

2/6 10:00 朝:○ 昼:× タ:○

午前 ホテルにて朝食
Oastad(現代デザイン建築の街)
Christiania
午後 市内にて各自昼食/午後終日自由行動
レストランにて夕食
コペンハーゲン(泊)

2/7 10:00 朝:○ 昼:× タ:機内

午前 ホテルにて朝食
出発まで自由行動
15:40 空路、成田空港へ

2/8 10:00 朝:機内

10:40 成田空港着
通関後、解散

機中(泊) スケジュールは変更になる場合がございます。



“自然体験型保育”でいま話題の朝霞どろんこ保育園・安永理事長が視察に同行!

社会福祉法人どろんこ会 理事長 安永愛香氏

東京理科大学工学部に在学中に結婚。外資系企業で子育てしながら働く保護者であったが、「ただ預るだけ」の保育に疑問を感じ平成10年に体験型保育園「リー★ボビズ」を企業。「朝霞どろんこ保育園」をはじめ東京都・埼玉県・神奈川県・群馬県内でグループ合計45ヶ所の子育て支援施設を運営。いずれも園児たちの畑仕事、田植え稲刈りやヤギの世話、商店街ツアーなど体験を通じて“にんげん力”を育てる保育を展開している。



どろんこ保育園開園の際には、デンマークの自然体験型保育に大きな影響を受けました。今回は老人福祉と児童福祉の接点についてヒントを得られればと楽しみにしています。

安永愛香

必ずや、生きる力を育てる 保育のヒントが得られます

現在の少子化対策(次世代育成支援法案)では、子どもの生きる力を育むことがポイントの一つとして明記されています。デンマークの自然保育園の毎日の保育は、雪の中でも外遊びが基本。自然の中で体験することを通じて子どもを人間らしく育てる。知育ではなく、にんげん教育を実際にご覧ください。

「NHK クローズアップ現代」今年6月8日放送 “高齢化先進国”の強みを生かせ

ギネスブックで認定された日本製癒シロボ 介護ロボ「パロ」を導入している介護施設訪問

デンマークでは、高齢者居宅介護促進プロジェクト「Be Safe」の取り組みにおいて、12体のパロを使った7カ月の実証実験が行なわれました。コペンハーゲンの認知症センターで実施されたものですが、この実験でセラピー効果について高い評価を得たことから、DTIがパロの導入をサポートすることになりました。すでに国内40カ所でもパロが利用されています。本視察ツアーでは、この、パロを導入している高齢者施設を訪問します。

日本製介護ロボ「パロ」、デンマーク国内ほぼ全ての介護施設に導入が決定
日本製介護ロボ「パロ」は、介護施設に導入が決定し、デンマーク国内にほぼ全ての介護施設に導入が決定しました。パロは、高齢者の生活を支えるだけでなく、認知症の予防やケアにも効果的であると評価されています。今回の実証実験では、認知症センターでパロが利用されたことが確認されました。パロは、高齢者の生活を支えるだけでなく、認知症の予防やケアにも効果的であると評価されています。今回の実証実験では、認知症センターでパロが利用されたことが確認されました。

記事:日本介護新聞 平成20年11月20日